

社会を明るくする運動

中学生の部優秀作文

まほうの言葉で

泗水中学校1年 前田未結さん



みなさんが思う「明るい社会」とは、どんなものでしょうか。私にとつての明るい社会は、犯罪などがなく、人々が安心して暮らせる世の中です。おそらく、犯罪はいけないと分かっている、自分の力で防ぐことはできないと考える人も少なくないと思います。しかし、たった一言で防ぐことができるのです。

例えば、あいさつはどうでしょうか。あなたは、朝すれちがった人に「おはよう」と言われたらどう思いますか？あまりいやな気持ちになることはないと思います。むしろ、うれしくなり、あいさつを返す人が多くいます。そして、「言つてよかったです」と感じると思います。以前私が下校しているときに、地域の方とすれちがいました。その方に、「こんにちは。」と、あいさつをすると、「いつもあいさつばしてきてくれてありがとう。いつも元気になる。」と、言つて下さいました。私はこれまで「あいさつ」をしたことで「ありがとう」や「元気になる」などと言われたことがなかったのでこれまでに以上うれしい気持ちになりました。その時に私は、あいさつで人の気持ちを変えられることを知りまし

た。

また、私の家では、朝みんなであいさつをしています。私がどんなに機嫌悪く起きてきても、祖母や父、母、兄が、「おはよう」と笑顔で言ってくれます。それだけで、悪かった機嫌も自然と治り、気持ち良くなるのでスタートすることが出来ます。

中学校でもあいさつ運動をしています。時には、朝早く学校に行くのがきつい時もあります。しかし、朝、友達にあいさつできたり、あいさつを返してもらるので、やりがいを感じますし、私自身も元気になります。

では、なぜこのあいさつが犯罪を防ぐのでしょうか。

実際に、ある地域では、回覧板で「あいさつで犯罪を防ぐ」という呼びかけをし、あいさつ運動以外のときでもあいさつをしたところ、その地域の犯罪件数が減ったそうです。つまり、たった数文字の言葉ですが、あいさつの力は大きいのです。たった一つの言葉で人の気持ちを変えられる、まさにこれは、まほうの言葉なのです。

あいさつ以外でも、まほうの言葉はたくさんあります。それは、「がんばれ」などの応援

する言葉や、「ありがとう」などの感謝の言葉です。これらの言葉を使うことで、私たちは、人に、勇気や温かさを与えられるのです。例えば、部活の時に、きつい練習をして体が重いとき、「ファイト」と応援してもらうと、体が軽くなり、がんばろうという気持ちになります。そして、自分からも「ファイト」と応援したくなります。

社会を明るくするということは、一人ひとりがまほうの言葉を使うようになるということだと思います。そうすれば、人が明るくなり、社会も明るくなっていくのではないかと思います。「あいさつをしなさい」や、「お礼を言いなさい」などの言葉は、これまでいろんな人に言われてきました。でも、あいさつやお礼を言うことによつて、その人がどんな気持ちになるかを考えて言葉を相手に伝えていませんでした。これからは、なぜあいさつをするのか、なぜありがとうと言うのか、意味をさらに考えて行動しようと思います。そして、まほうの言葉を使う人がもっと増えていくように、自分からまほうの言葉を広げていこうと思います。

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾に参加して

旭志中学校3年 高田海斗さん



僕は、7月31日から8月6日まで、福島県の会津若松市で行われた、プラチナ未来人財育成塾に参加してきました。プラチナ未来人財育成塾とは、各学校の代表の人たちが集まり、これからの日本を支えるリーダーを育成する場です。僕は、正直なところ、日本を支えるリーダーになりたいと思つて参加したわけではありません。他校の人たちと交流して、いろいろな考えを聞き、自分の視野を広げたいと思ひ、参加しました。はじめは、「どんな人たちが来るのだろう」「ちゃんとみんなと話せるかな」と不安なところもありました。しかし、実際に参加してみると、他校の人たちもみんな明るくて接しやすく、すぐに話せるようになりました。今では、この研修に参加してとてもよかつたと思つています。

参加してよかつたと思ひ大きな理由は2つです。1つ目は、日本のトップの人たちから話を聞いたことです。中でも心に残つているのは、日本ラグビーフットボール協会コーチングディレクターである中竹竜二先生の話です。中竹先生は、「成功と成長をわけて考え、勝負することの大切さ」という題で、リーダーにとって大切なことや、失敗を恐れず

に挑戦することの大切さについてお話ししてくださいました。私はこれまで、失敗を恐れてあまり前に出ず、人任せにしていることがよくありました。しかし今回の話を聞き、自分の成長のチャンスが無駄にしていると思ひました。だからこれからは失敗を恐れずに前に出て、積極的に行動していこうと思ひます。

また、他の先生方の話の中で共通していたことがあります。それは、海外に行つて日本の良さに気付くことが大切だということです。海外で活躍されている人がたくさんいるのはもちろん、進出している企業や、売られている物などにも、日本で生まれたものがたくさんあります。日本人や物が、今海外で評価されている理由は、日本に住む人の心が海外の方に伝わっているからだそうです。逆に、私たちも海外の文化に目を向けることで、新たな視野を持つて物事を考えられるようになります。お互いの国の良いところを尊重しあうことで、よりよい社会ができると思ひます。

2つ目は、他校の人と交流ができたことです。毎日8人から9人のグループで意見交換をしました。最初はあまりみんなに自分の考えを伝えることができなかつたけど、回を重ねると思ひます。

ねるごとに、グループのみんなとも打ち解け、自分の夢などについても語り合うことができました。また、新しく出会った友だちの意見を聞き、自分がない考え方を知ることができました。これから学級でも自分の進路について語る時間があると思ひますが、そこでも自分の夢をしっかりと語りたいです。

7日間の研修を終えての1番の収穫は、全国で頑張っている仲間たちと出会えたことです。短い研修期間でしたが、たくさん意見交換をしました。どこかで頑張っている仲間がいると思ひ、自分も頑張らなくては、という気持ちになります。私は3年生なので、生徒会活動ができるのも残りあとわずかです。まずは自分の学校をよりよい学校にするために、しっかりと頑張っていきたいと思ひます。

普段はすることのできない、貴重な経験をすることができ、本当によかつたと思ひます。今回このような機会を与えてくださった菊池市をはじめ、研修にかかわつたすべての皆様、本当にありがとうございまして。今後の生活に生かしていけるように、これからもがんばつていきます。 ※作文は抜粋しています。